



ガバナー月信

vol.12 Jun / 2026



月信6月号

- ① ガバナーメッセージ
- ② 三条北 RC 創立 40 周年記念式典
- ③ 三条東 RC 創立 20 周年記念式典
- ④ 十日町 RC 創立 70 周年記念式典
- ⑤ ローターアクトエレクトセミナー・地区協議会
- ⑥ 第 3 回青少年交換派遣学生オリエンテーション
- ⑦ インターアクト国際交流事業
- ⑧ 米山記念奨学生オリエンテーション・歓迎会
- ⑨ 地区ラーニング委員会
- ⑩ 財団委員会通信
- ⑪ 地区主要行事予定 (6 月・7 月)
- ⑫ 新入会員紹介・訃報
- ⑬ コーディネーターニュース
- ⑭ ハイライトよねやま

Rotary
第2560地区



よいことの
ために
手を取りあおう

国際ロータリー第 2560 地区
2025-26 年度

室賀ガバナー事務所

〒951-8061 新潟市中央区西堀通七番町 1574
ホテルイタリア軒 B1
TEL : 025-222-2561 FAX : 025-222-2565



ガバナーメッセージ

2025-26 年度ガバナー
室賀 信宏 (白根 RC)

私のガバナー年度も残すところあと約1か月間となりました。皆様の多大なるご協力のおかげでここまではガバナーの大役を務めることができました。あらためて感謝いたしております。

さて、4月27、28日の両日、パシフィコ横浜においてクラブ活性化セミナーが開催されました。本年度のテーマは「退会防止」でした。例年、全国のロータリークラブでは6月にメンバーの退会が集中する傾向にあります。我々2560地区においてもその例外ではありません。我々2560地区は本年度第1地域内において他地区と比較し、会員増強で優秀な成績を収めているところであります。これも地区内各メンバーのご努力によるものと敬意を表します。せっかく入会いただいた会員が2年以内に一番多い割合で退会してしまうというデータがセミナーにおいて発表されておりました。退会する理由は個人個人でいろいろありますが、ちょっとしたクラブメンバーの配慮で防ぐことができる場合があります。是非とも皆様におかれましても、特に入会し比較的経験の浅いメンバーに対しまして、ロータリーのすばらしさをお伝えする機会をクラブ内でお創り頂き、退会防止に努めていただきたいと思っております。5月10日に地区主催の「ベーシックラーニング」を開催いたしましたが、その中でもロータリーの歴史やそのすばらしさを参加者の皆様にお伝えいたしました。

6月は「ロータリー親睦活動月間」です。ロータリーの原点は友情にあります。クラブの仲間とのつながりをさらに深め、次年度へ向けて希望と活力を育てていただきたいと思っております。そして、新たな年度を迎える準備を進めながら、これからも「超我の奉仕」の理念を胸に、共に歩んでまいりましょう。

一年間のご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。皆さまのご健勝と各クラブのさらなる発展を祈念し、6月のご挨拶といたします。





三条北 RC 創立 40 周年

三条北ロータリークラブ
会長
羽賀 一真

三条北ロータリークラブは、2026年4月18日（土）に創立40周年記念式典および祝賀会を開催いたしました。

当クラブのバナーシンボルは、法華宗総本山・本成寺で毎年節分に行われる伝統行事「鬼踊り」に登場する赤鬼です。本年は、この赤鬼とのご縁が40周年に向けて大きく深まった一年となりました。

節目の年に合わせ、三条の金物文化を象徴する大工道具を模した「鬼の武器」を、社会奉仕事業として本成寺奉賛会へ寄贈しました。続いて、2月3日（火）の節分には、当クラブの通常例会日と重なったご縁もあり、本成寺で移動例会を開催。奉賛会の皆様のご協力のもと、寄贈した新調の武器を用いた節分行事に参加し、交流を深めました。こうした取り組みが、40周年記念式典での特別出演へとつながりました。

式典は会長自らのピアノ伴奏で「君が代」、ロータリーソング「奉仕の理想」を斉唱して開始されました。

続く記念公演では、「井栗万葉藤の木太鼓」による演奏に続き、本成寺奉賛会による伝統芸能『鬼踊り』が登場。中央の赤鬼は当クラブの若手現役会員が務め、会場を大いに沸かせました。

祝賀会では、地元ジャズオーケストラの演奏に、当クラブ会員がトロンボーン奏者として参加し、式典に彩りを添えました。

音楽と伝統文化、そして地域との深いご縁が交わる40周年の催しは、来場者の皆様にも温かく受け止めていただき、当クラブらしい手作りの式典となりました。

皆様のご臨席を賜り厚くお礼申し上げます。



法華宗総本山・本成寺奉賛会による伝統芸能「鬼踊り」。
中央の赤鬼は当クラブの若手現役会員が務め、式典に花を添えた。



式典では会長がピアノ伴奏を務め、祝賀会では会員がトロンボーン演奏に参加。
音楽が節目の式典を温かく彩った。



三条東 RC 創立 20 周年記念式典

三条東ロータリークラブ
会長
栗山 正男

さる、5月9日（土）、ジオ・ワールドビップに於いて、滝沢三条市長、兼古三条商会議所会頭、加藤三条交通安全協会会長を来賓にお迎えし、また、室賀ガバナーをはじめ県内各地から多くのロータリアンの皆様、総勢 200 名弱の皆様からご臨席賜り、三条東ロータリークラブ創立 20 周年記念式典ならびに祝賀会を挙行いたしました。

私ども、三条東クラブは、三条北クラブの米山忠俊特別代表の献身的なご指導の下、三条北クラブをスポンサークラブとしまして、2006年7月19日に第2560地区で57番目のクラブとしてRI加盟認証していただき、活動をスタートさせました。以来20年の間に「命を守る」というテーマのもと活動して参りました。

20年を人間に例えれば、成人する年になります。これからは自立した心を持って、そして謙虚に、今後の30年・40年に向け、皆様に可愛がっていただき、より良いクラブとなりますよう努力を重ねていきたいと考えております。

また、地域の皆様との共生の心を持ちまして、お役に立つ奉仕を実践して参ります。

20周年記念事業として、三条市に障がい者福祉に役立ててほしいとの思いから金一封を寄付させていただきました。それと、三条市交通安全協会様にはパトロールカー1台を寄贈いたしました。

催し物といたしまして、高機能広汎性発達障害を持ちながらも数々のコンクールで受賞歴のある石月誠人様のエラーールピアノを使ったピアノコンサートを開催しました。

そして、市内の障がいを持っていらっしゃる方々の絵画等の展覧会も開催しました。

障がいを持っているからこそ、純粋な心が見て取れる何らかの才能を持っている方々を理解・評価していただきたいとの想いで行いました。

長谷川幹事、近藤実行委員長をはじめとする実行委員会の皆様、そして会員お一人お一人には私の想いを実現するために、多大なるご負担・ご迷惑をおかけしましたが、メンバー一丸となって取り組んできたことが当日の成功を導いてくれました。

ご臨席賜りました皆様に感謝申し上げ、報告に替えさせていただきます。





十日町 RC 創立 70 周年 記念式典・祝賀会

十日町ロータリークラブ
会長
藤田 真実

十日町ロータリークラブは、1956年（昭和31年）の創立以来、多くの地域の皆様に支えられながら、本年創立70周年という大きな節目を迎えることができました。

2026年5月16日、当間高原リゾート ホテルベルナティオにて創立70周年記念式典・祝賀会を開催し、多くのご来賓、ご友人、関係者の皆様にご臨席を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

また、この周年事業にあたりましては、ロータリー会員はもとより、パートナーの皆様にも多大なるご協力をいただきました。当日は会員・パートナー合わせて48名が参加し、準備から運営まで共に支えていただきましたことに、会長として改めて深く感謝申し上げます。

十日町ロータリークラブは、これまで地域に根ざし、ロータリアンらしく奉仕の心を大切にしながら活動を続けてまいりました。駅周辺のクリーン活動、車いすバスケットボール支援、米山記念奨学事業を通じた交流など、地域の皆様と共に歩む活動を積み重ねております。

私自身、

「奉仕しよう 地域みんなの人生を豊かにするために」

という思いを大切にしております。単に支援を行うだけではなく、人と人とのつながりを大切にしながら、少しでも地域のお役に立てる存在でありたいと考えております。

今回の70周年事業では、長年クラブを支えてこられた永年在籍会員や歴代役員への感謝をお伝えするとともに、地域で福祉・教育・支援活動に取り組まれている団体の皆様へ寄付を行わせていただきました。微力ではありますが、地域社会への恩返しの一助となれば幸いです。

式典・祝賀会では、多くの皆様との交流を通じて、改めてロータリーの原点である「奉仕」と「友情」の大切さを実感いたしました。70年という歴史は、先輩会員の皆様が地域のために積み重ねてこられた信頼と努力の上に成り立っております。その歩みを受け継ぎながら、これからも十日町ロー

タリークラブは、地域と共に歩み続ける存在でありたいと思っております。

最後になりますが、本事業開催にあたりご尽力いただきましたすべての皆様に心より感謝申し上げます。今後とも十日町ロータリークラブへのご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



会員・パートナー集合写真



記念事業寄付金贈呈



祝賀会を彩る天神囃子



70周年事業を支えた実行委員長と会長



ローターアクトエレクト セミナー・地区協議会

地区ローターアクト代表エレクト
大塩 悠太郎 (三条 RC)

日頃よりローターアクトの活動にご理解とご協力を賜り、御礼申し上げます。

ローターアクトでは次年度の活動に向けて、2026年4月18日にエレクトセミナー、5月16日に地区協議会を開催いたしました。

エレクトセミナーでは次年度各クラブで会長幹事を務める皆さんに次年度地区運営方針のご報告をいたしました。また、3月に開催されたクラブ会長エレクトラーニングセミナー（PELS）にてご説明をいただいた RI 会長エレクトが掲げるテーマや富山ガバナーエレクトの地区目標について共有を行いました。

地区協議会では「持続可能なローターアクト」をテーマに掲げ、ホテル日航新潟展望室にて開催いたしました。テーマには目の前の活動だけでなく、ローターアクトの将来の発展につながる活動を目指そうという思いを込めました。次年度の活動を充実したものとするべく、参加者が主体的に考え、取り組めるように3つのプログラムを行いました。①10Essentials プログラム（自身の人生において欠かせないものを考えよう）②新潟版 SDGs ボードゲームプログラム（地域課題を知ろう）③例会、行事の企画プログラム（活動内容を考えよう）を実施いたしました。それぞれのプログラムを通して会長幹事の皆さんが次年度取り組みたい活動を考えるきっかけづくりができたことかと存じます。また地区協議会にはロータリアンの皆様からもご参加いただきました。ローターアクトの活動を理解いただくよい機会となりました。

7月から次年度がスタートいたします。会員全員がローターアクトの活動を通して社会貢献や自己成長ができるよう地区運営に努めてまいります。引き続きご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。







第3回青少年交換派遣学生 オリエンテーション 報告

青少年交換委員会
副委員長

外山 浩玲 (三条 RC)

去る4月19日(日)、ホテルオークラ新潟にて、長期派遣候補者2名および短期派遣候補者2名の参加のもと、第3回青少年交換派遣学生オリエンテーションを開催いたしました。

はじめに室賀ガバナーよりご挨拶をいただき、「ロータリーの親善大使としての自覚を持ち、プレゼンテーション内容をブラッシュアップして派遣先での発表に備えてほしい。また、派遣先の環境についても事前に十分確認し、本番に向けて万全の準備を進めてほしい。さらに、日本のロータリークラブの概要および第2560地区の紹介も盛り込んでほしい」とのお言葉を頂戴しました。

続くオリエンテーションでは、長期派遣学生2名、短期派遣学生2名の順に英語によるプレゼンテーションを行いました。今回が初めての英語での発表ということもあり、緊張や準備面での不慣れさは見受けられたものの、自己紹介や家族紹介、学校生活、日本や新潟県の紹介などをパワーポイントを用いて発表し、いずれも完成度の高い内容でした。

ロータリアンからは、現地でより良いプレゼンテーションとするために、相手国の人々と親睦を深められる内容や、対話につながる構成を意識するよう助言があり、次回オリエンテーションでのさらなる向上を期待されました。

その後、市川副委員長より今後の流れと注意事項について説明があり、ホストクラブおよび学生それぞれに向けて、長期・短期派遣に関する要点が示されました。学生に対しては、現地での連絡手段として世界的に利用可能なWhatsAppの設定・利用を推奨し(LINE等は不可)、ホストクラブには必要書類の迅速な提出が求められました。また、長期・短期それぞれの受入期間に応じた注意点についても説明がありました。

最後に、メリートラベルの斎藤様より渡航手続きについての説明があり、清水地区青少年奉仕委員長の講評をもって、16時に閉会いたしました。

今後とも青少年交換事業へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、報告といたします。







インターアクト国際交流事業を終えて

インターアクト委員長
松原 幸人 (長岡 RC)

2026年4月25日～26日に台湾との国際交流事業を実施しました。3月26日～29日は日本の生徒が台湾に訪問し、今回は台湾より訪問を受ける事となります。

台湾からの訪問者は生徒24名、学校関連3名、ロータリアン8名と旅行スタッフ3名の総勢38名が訪日されました。ホスト校は長岡工業高等専門学校（以後長岡高専）、ホストクラブは長岡ロータリークラブです。25日11時50分に長岡高専に到着され、まずは昼食体験。昼食には長岡高専名物「油そば」と笹団子が提供されました。油そばは味が濃く味覚が合うようで好評でしたし笹団子もとてもおいしいと評判が良かったです。その後歓迎セレモニーと学校見学を行い、ホームステイプログラムに移行します。

日本の生徒さんは、台湾訪問時にホームステイを体験し、凄い歓待を受けて感激して帰ってきています。この受けた恩に対し、おもてなししたいと強く思うようになっていました。当初、自分の家では部屋が狭いので受入れられないなど否定的な家庭もあったのですが台湾での接待を受け、自宅で受け入れたいと変わるようになりました。素晴らしいことです。我々がホームステイのすばらしさをもっと伝えるべきだと強く感じました。

26日は夕方から「さよならパーティー」が開催されました。生徒を代表して6名の方にホームステイの感想を述べてもらいます。ホームステイを楽しく過ごせたことを聞けて、このプログラムのすばらしさを再認識させられます。パフォーマンスでは日本、台湾の生徒が一緒になって舞台上がり踊りました。最高に盛り上がった瞬間です。パーティーも終了しお見送りなのですが、なかなかお別れできません。涙を流し手を振る恒例な状況に、胸が熱くなります。台湾訪問と日本での受入、皆様のご協力によりなんとか無事終了することができました。ありがとうございました、謝謝。





米山記念奨学生 オリエンテーション・歓迎会

米山記念奨学委員会
奨学生選考委員会
委員

佐藤 健一（加茂 RC）

去る4月25日（土）、国際ロータリー第2560地区、2026年度「米山記念奨学生オリエンテーション・歓迎会」が、ANAクラウンプラザホテル新潟で開催されました。

このたびの新規奨学生は15名で、継続奨学生12名とあわせて今年度は27名の奨学生となります。当日は3部構成で、はじめにカウンセラーに対するオリエンテーション、続いて奨学生に対するオリエンテーション、そして奨学生歓迎会が行われました。

オリエンテーションでは室賀信宏ガバナー、富山洋ガバナーエレクト、渡邊嘉子米山記念奨学委員長からご挨拶をいただきました。

カウンセラーに対するオリエンテーションでは、中村文彦奨学生選考委員からカウンセラー制度・役割について説明があり、また元カウンセラー2名からも体験発表をしていただきました。ほとんどの皆さんはカウンセラーになるのは初めてということもあり熱心に耳を傾けていました。

続いて奨学生に対するオリエンテーションでは、茂岡与士栄奨学生選考委員長から米山記念奨学事業の主旨、奨学生としての心得、守るべき規定そして義務について説明があり、奨学生はその内容を理解・納得したうえで、その場で確約書に署名、提出し、晴れて米山記念奨学生となりました。

その後の歓迎会では、継続奨学生・学友会員・大学の指導教員の皆さまからもご出席いただきました。森田英ガバナーノミニーからご挨拶と乾杯のご発声、室賀信宏ガバナーから奨学生に対し桜をモチーフにしたバッジの贈呈、新規奨学生並びに継続奨学生一人ひとりからスピーチがあり、無事オリエンテーション・歓迎会を終えることができました。

奨学生はオリエンテーションでカウンセラーと初めて顔を合わせ、最初とても緊張した面持ちでしたが、カウンセラーの皆さんから積極的なお声かけがあり、歓迎会ではすっかり打ち解け笑顔が広がっていました。カウンセラー並びに世話クラブの皆さまには、奨学生を温かく受け入れていただき心から感謝申し上げます。

米山記念奨学事業の使命は、将来日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これはまさに、ロータリーの目指す「平和と国際理解の推進」そのものです。

いまウクライナや中東で戦争が続いているなか、世界平和のためこの米山記念奨学事業の重要性はますます高まってきています。地区ロータリアンの皆さまにはこれまで以上に、米山記念奨学事業に対しご理解とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。





ベーシックラーニング開催の報告

地区ラーニング委員会
委員

下村 栄 (新発田 RC)

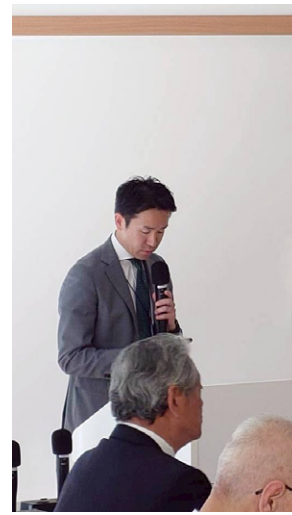
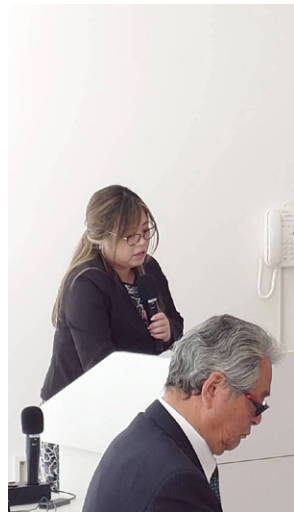
日頃より地区ラーニング委員会の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

去る5月10日(日)、長岡市社会福祉センタートモシアにて、国際ロータリー2560地区ベーシックラーニングが開催されました。当日は室賀ガバナーをはじめとする地区役員の皆さまと、県内各ロータリークラブから約50名弱の会員が参加され、厳粛な雰囲気の中でベーシックラーニングが始まります。

はじめに室賀ガバナーのごあいさつ、高橋委員長のイントロダクションとして「趣旨説明とラーニングのあらまし」について講義が始まり、参加会員の皆さんはお話しに聞き入っています。



この後、地区ラーニング委員会の松木委員によるご自身の経験を踏まえた「ロータリーの概要」の説明、そして高橋健委員による「ロータリーの奉仕」と「マイロータリーの活用」の説明がありました。松木委員、高橋健委員共に語り掛けのような話法を用いつつ、各々の委員の特色ある聴きごたえのあるプレゼンでした。私も会場写真を撮りつつ聴いておりましたが、流麗かつ聞きやすい内容で皆さんにもしっかり伝わったと感じました。ここでベーシックラーニングの前半が終了し休憩を挟みます。



さて休憩を挟み後半ディスカッションの部の開始です。導入は関川ラーニングファシリテーター補佐による「ロータリーエピソード」の紹介です。皆さんはロータリークラブに入会したかったですか？という問いから始まるご自身のエピソードは価値のあるお話しでした。会場を回りながら、参加会員さんに声を掛けながら関川さんらしい軽妙な語り口で会場をひとつにしていきます。



そしてここからは参加の皆さんが8グループに分かれてディスカッションの開始となります。テーマは「クラブで行ってみたいロータリー活動」。各々がとても活発に議論されていた印象です。最後は丹治ラーニングファシリテーター補佐より講評をいただき閉会となりました。



地区ラーニング委員会も様々な経験を積んで熟練度を上げてきました。今回の地区ラーニング委員会によるベーシックラーニングはいかがだったでしょうか。次回以降もより良いラーニングを提供できるよう励んで参ります。本当にありがとうございました。

おつかれさまでした。



「世界でよいことをしよう」

財団委員会通信

2026-27 年度地区補助金事業

ロータリー財団委員会
補助金委員長 木村 譲（三条南 RC）

このたび次年度に向けて地区補助金対象事業のプロジェクトが各クラブより財団委員会へ提出されました。すべてのプロジェクトを確認させていただきましたが、次年度からはじまる新たな事業は、地域のニーズを的確に捉え、立案から実施まで全クラブ会員が参画するプログラムとして、クラブ文化に新たな活動の 1 ページを刻む素晴らしい一年になることを予感させます。

申請奉仕プロジェクトは次の通りです。

RC 名	プロジェクト名
新発田	実体験から学ぶ相続と家族の未来設計講演会
村上	村上駅前花壇整備
水原	笹神中学校中庭プロジェクト
中条	「折れない心を育てるいのちの授業」プロジェクト
新発田城南	新発田城大手門内の美化・緑化、並びに市内独居老人宅へのお花の寄贈プロジェクト
豊栄	第 48 回豊栄ロータリー旗争奪 U12 バスケットボール大会
新発田中央	高校生向け『新発田お仕事カタログ』発行
中条胎内	私たちのクリスマス 【ふれあいフェスティバル】
村上岩船	(仮称) ハートマッチむらかみ企画
新潟	超音波診断装置のリニャプローブの寄贈
新潟東	「市民活動グループどうぶつがかり」支援プロジェクト
新潟南	ひきこもり状態にある方の居場所実現応援プロジェクト
新潟西	そらいろこども食堂への食材等の寄贈
佐渡南	トビシマカンゾウの植栽事業
新潟北	こども食堂への支援プロジェクト
新潟万代	特定非営利活動法人 鶴翔会スワンを通じ、新潟県立新潟よつば学園に対する商品支援
村松	第 23 回村松ロータリークラブ杯学童野球大会
白根	特定非営利活動法人 子ども食堂 チューリップ設立に向けた支援事業
新津中央	郷土の画家井田英夫氏の遺作展地元開催
三条	子どもスマイル応援プロジェクト
燕	第 10 回燕ロータリークラブ杯サッカー大会 U-12

RC 名	プロジェクト名
加茂	新潟大学 K ホームと連携した、加茂市の子供たちの健全育成および地域交流活性化事業
三条南	AED(自動体外式除細動器)の設置及び救命方法についての講習会の開催
分水	分水中学校吹奏楽部メンバーによるコンサート
見附	(仮称)初めての野球教室
吉田	地域を元気に！笑顔に！ ～地域の歯車ロータリークラブ～
三条北	伝統ある三条祭りを盛り上げて三条市を元気にしよう
巻	水芭蕉生息地環境整備(延長遊歩道整備計画)
三条東	障がい者施設への支援
長岡	人形劇場むすび座による人形劇
長岡東	長岡 次世代デジタル人材育成事業 : 子どもプログラミング・ドローン・AI 教育
栃尾	放課後等デイサービス つむぎ周年祭 渡辺顕一郎 記念講演会
長岡西	長岡市水泳育成プロジェクト
柏崎中央	生理の貧困対策プロジェクト
十日町	ユニバーサルスポーツフェスタ in 十日町
小千谷	小千谷ロータリークラブからのクリスマスプレゼント
雪国魚沼	プロから学ぶ動画×実践トレーニング
高田	母子健康リソースセンターへの腹部エコー機器 (USB Probe US304)支援事業
直江津	浜っ子スキー体験プロジェクト 2027
糸魚川	防火防災意識の高揚と地域防災力の向上事業
高田東	子育て世代にロータリーの安心とエールを
糸魚川中央	糸魚川の森と未来を考える
越後春日山	教育支援活動 伝統文化茶道教室「みんなの茶道」秋の茶会

第 2560 地区 2025-26 年度 4 月末 会員数報告

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2025年 7月1日	4月末 会員数	うち女性	増減
第1分区 (9クラブ)	△	-	378	379	46	1
新発田	4	31.2%	90	93	2	3
村上	4	23.7%	38	38	8	0
水原	3	31.4%	34	35	3	1
中条	4	100.0%	48	47	3	-1
新発田城南	4	27.0%	38	37	5	-1
豊栄	2	35.0%	21	20	2	-1
新発田中央	5	22.7%	44	44	5	0
中条胎内	4	51.3%	39	39	11	0
村上岩船	3	26.9%	26	26	7	0
第2分区 (9クラブ)	△	-	453	487	39	34
新潟	4	42.5%	74	80	3	6
新潟東	4	16.7%	66	78	12	12
新潟南	4	37.4%	114	115	9	1
佐渡	1	66.7%	3	3	0	0
新潟西	4	63.8%	53	57	4	4
佐渡南	4	13.0%	43	46	4	3
新潟北	4	27.9%	37	43	0	6
新潟中央	3	44.4%	24	27	1	3
新潟万代	3	55.3%	39	38	6	-1
第3分区 (5クラブ)	△	-	97	101	9	4
新津	4	56.3%	16	16	1	0
村松	4	59.1%	19	22	2	3
白根	5	29.4%	32	34	2	2
新津中央	4	41.7%	25	24	4	-1
阿賀野川ライン	3	60.0%	5	5	0	0
第4分区 (11クラブ)	△	-	343	339	33	-4
三条	3	17.9%	54	56	1	2
燕	4	42.1%	41	38	3	-3
加茂	3	19.2%	27	26	4	-1
三条南	4	25.6%	38	39	3	1
分水	4	62.9%	33	34	6	1
見附	3	10.0%	20	20	1	0
吉田	3	0.0%	23	22	3	-1
三条北	4	26.7%	46	45	4	-1
巻	3	9.5%	22	21	2	-1
田上あじさい	禰	16.7%	5	5	2	0
三条東	3	30.3%	34	33	4	-1

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2025年 7月1日	4月末 会員数	うち女性	増減
第5分区 (7クラブ)	△	-	283	296	30	13
長岡	4	59.2%	43	49	5	6
柏崎	4	57.1%	45	49	0	4
長岡東	4	32.2%	57	59	7	2
柏崎東	3	20.0%	38	40	4	2
栃尾	4	50.0%	19	18	1	-1
長岡西	4	25.0%	46	44	3	-2
柏崎中央	2	27.0%	35	37	10	2
第6分区 (6クラブ)	△	-	117	126	13	9
十日町	3	28.9%	38	38	7	0
小千谷	3	16.7%	25	30	3	5
雪国魚沼	3	66.7%	25	27	2	2
十日町北	2	0.0%	9	12	1	3
津南	4	36.4%	12	11	0	-1
越後魚沼	3	50.0%	8	8	0	0
第7分区 (7クラブ)	△	-	305	321	23	16
高田	4	38.8%	63	67	3	4
直江津	3	31.2%	74	77	7	3
新井妙高	3	55.3%	36	38	1	2
糸魚川	3	95.3%	45	43	3	-2
高田東	4	51.6%	30	32	2	2
糸魚川中央	4	55.6%	30	36	3	6
越後春日山	3	82.1%	27	28	4	1

クラブ数	54 クラブ
7月1日会員数	1,976 人
4月末会員数	2,049 人
女性会員数	193 人
純増減会員数	73 人
My Rotaryアカウント登録率	39.0 %

※ 3 月末会員数の訂正
 高田 RC 67 人 (うち女性 3 人) ⇒ 66 人 (うち女性 3 人)
 第 2560 地区 2,025 人 (うち女性 192 人)
 ⇒ 2,024 人 (うち女性 192 人)

地区主要行事予定

2026年5月20日現在

年 月 日		行 事		会 場	
2026年 (R8) 室賀	6月	ロータリー親睦活動月間			
		2	(火)	全国次期米山記念奨学委員長対象第2回セミナー	ビジョンセンターグランデ浜松町
		6	(土)	第1回米山記念奨学生親睦交流会	ピア万代
		13~17	(土~水)	RI国際大会	台湾・台北
		14	(日)	第24回台湾RI囲碁大会	敏盛智医城
		20	(土)	第4回派遣学生オリエンテーション	ホテルオークラ新潟
		20	(土)	派遣学生壮行会、受入学生お別れ会	ホテルオークラ新潟
		20	(土)	ローターアクト地区大納会	ホテルイタリア軒
		21	(日)	ロータリー財団 学友会総会	ホテルイタリア軒
		24	(水)	富山年度危機管理委員会	ホテルオークラ新潟
27	(土)	室賀年度感謝の集い・地区諮問委員会	サルナート吉運堂		
2026年 (R8) 富山	7月	母子の健康月間			
		1	(水)	第1回ガバナー会議/ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	ヒルトン大阪
		5	(日)	第17回 青少年交換委員長会議	AP八重洲+ZOOM
		11	(土)	第1回米山記念奨学委員長セミナー	ホテルイタリア軒
		18~19	(土~日)	インターアクト年次大会	デュオセレッソ/妙高自然の家
		18	(土)	第1回財団セミナー	ホテルイタリア軒
		21	(火)	②佐渡RC 公式訪問	両津福浦
		21	(火)	②佐渡南RC 公式訪問	Ryokan 浦島
		22	(水)	①中条RC、中条胎内RC 公式訪問	中条グランドホテル
		25	(土)	クラブ活性化ワークショップ	ホテルオークラ新潟
		25	(土)	富山年度ガバナー補佐研修会	ホテルオークラ新潟
		25	(土)	森田年度ガバナー補佐ラーニングpart1	長岡市
31	(金)	②新潟東RC、新潟北RC、新潟中央RC 公式訪問	ANAクラウンプラザホテル		

【新入会員】

(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
糸魚川中央	西連地 志穂	2024.12.01	フューチャー(株)	シニアコンサルタント	ITコンサルタント業
糸魚川中央	林 哲也	2025.03.01	ホテル国富アネックス	取締役支配人	宿泊業
糸魚川中央	清水 貴之	2025.06.01	(株)コラソン	代表取締役	調剤薬局
糸魚川中央	伊藤 祐市	2025.08.01	伊藤祐市税理士事務所	代表	税理士
糸魚川中央	渡邊 吉樹	2026.01.01	(有)渡辺酒造店	代表社員	酒造業
佐渡南	田中 優	2026.04.01	第一生命保険佐渡営業オフィス	オフィス長	生命保険
佐渡南	野口 昌一	2026.04.01	(株)ユアテック佐渡営業所	所長	電気工事
佐渡南	萩原 正人	2026.04.01	ドクターシューズ	店長	靴販売業
村松	齋藤 哲博	2026.04.01	五泉三菱自動車販売(株)	代表取締役	自動車販売整備業
糸魚川中央	藤松 利浩	2026.04.01	医療法人社団 AGREE CROSS	病院長	心臓外科医
糸魚川中央	巻淵 彦也	2026.04.01	アグリよしだ病院	ゼネラルマネージャー	病院及び施設
新潟西	加藤 慎人	2026.04.02	(株)カトウ塗装工業	代表取締役	塗装
新潟北	佐藤 浩	2026.04.06	新潟東映ホテル	副支配人	ホテル&レストラン
新潟東	田中 健	2026.04.10	田中室内	代表	内装業
新潟北	齋藤 俊	2026.04.13	Grebo(株)	代表取締役	旅行業
柏崎	田邊 哲也	2026.04.15	(有)タナベスタジオ	取締役社長	スタジオ
新潟東	須貝 智	2026.04.17	テンプスタッフフォーラム(株) 新潟オフィス	オフィス長	人材派遣業
新潟万代	山崎 聡子	2026.04.20	司法書士・行政書士 山崎事務所	代表	司法書士
新潟南	中込 健太郎	2026.04.22	(有)ーム	代表取締役	日本料理
新潟東	石原 慶太郎	2026.04.24	ソニー生命保険(株) 新潟LPC第2支社第1営業所	ライフプランナー	生命保険
高田東	関根 裕憲	2026.04.27	日本生命保険(相) 長岡支社高田営業部	営業部長	生命保険業
新潟	橋本 康史	2026.04.28	清水建設(株) 北陸支店新潟営業所	営業所長	コンクリート建築
十日町	渡邊 佳穂	2026.05.07	朝日生命保険相互会社	営業所長	保険業



“回転ドア”は止められているか

第1地域 ロータリー会員増強コーディネーター補佐 大高 司郎（高萩 RC）

会員を迎えても、やがて送り出してしまう。
その繰り返しとなっていないでしょうか。

会員増強に取り組んでいるにもかかわらず、クラブの手応えが変わらないとすれば、その要因は「増えていない」ことではなく、「定着していない」ことにあるのかもしれませんが。本年度より第1地域ロータリー会員増強コーディネーター補佐(ARMC)として活動し、間もなく一年を迎えますが、各地区・各クラブの取り組みに触れる中で、その傾向を強く実感しています。会員維持の観点から見ると、退会は12月末、3月末、6月末に集中する傾向があり、特に6月末に顕著です。この時期を経て、会員数が伸び悩むクラブも少なくありません。いわゆる「回転ドア」の状態にあると言えます。



会員が増えないのではなく、定着していないのではないか。
この視点に立つと、取り組むべき課題はより明確になります。

退会の背景には、時間的・経済的負担や期待とのギャップが挙げられます。しかし、その現れ方はクラブごとに異なります。したがって、「なぜ自クラブにおいて退会が生じているのか」を具体的に捉えることが重要です。さらに、在籍年数の長い会員の退会も見受けられます。長年クラブを支えてこられた方が離れるという事実は、クラブの在り方そのものを問いかけています。加えて、クラブそのものがRIから脱会する事例も増加傾向にあり、この問題はクラブ単位にとどまらず、組織全体の持続性にも関わる課題となっています。

この一年、「会員増強・維持」「衛星クラブ設立」「クラブ優秀賞へのチャレンジ」に関する関心は確実に高まっています。それにもかかわらず「回転ドア」が止まらないとすれば、問題は別のところにある可能性があります。

クラブは、会員を増やすことで強くなるのではなく、会員が残ることで強くなる。
この前提に立てば、まず取り組むべきことは明らかです。
自クラブにおける退会の傾向と背景を的確に把握すること。
その要因に真摯に向き合い、具体的な改善を積み重ねていくこと。

たとえば、入会後のフォローの在り方、例会への参加のしやすさ、会員相互の関係性、さらには経験豊かな会員がどのように関わり続けられているかなど、日常の運営を改めて見直すことが有効です。こうした取り組みの積み重ねこそが、「回転ドア」を止める確かな道筋となります。

一人ひとりが「このクラブにいて良かった」と感じ続けられるか。
その問いに、今こそ真摯に向き合うときではないでしょうか。



信頼をつなぐ公共イメージ

第1地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 細淵 雅邦（浦和 RC）

私たちロータリーの活動は、長年にわたり各クラブの皆さまが積み重ねてこられた奉仕と信頼の上に成り立っています。地域に根ざした誠実な取り組みの一つひとつが、今日の確かな評価と公共イメージを形づくってきました。ロータリー公共イメージコーディネーターチームの活動も、まさにその歩みの延長線上にあるものだと感じています。



近年は、情報発信の手段が広がり、各クラブの素晴らしい活動がより多くの方々に届くようになりました。

こうした発信は、ロータリーの認知を高めると同時に、本来の大きな課題である会員増強にもつながっていく重要な要素です。活動の魅力や価値が適切に伝わることで、新たな仲間との出会いが生まれ、ロータリーの輪が自然と広がっていく、その一端を公共イメージが担っていると感じています。その一方で、情報の広がりが大きくなった。

時代だからこそ、発信や対応のあり方に対する意識も、これまで以上に大切になってきています。ここで私が大切にしたいと考えているのが「危機管理」の視点です。

これは何か問題があるから取り組むものではなく、これまで築かれてきた信頼を守り、安心して活動を続けていくための基盤となるものです。適切な備えや意識の共有があることで、日々の活動はより安定し、外部からの信頼もさらに深まっています。公共イメージの取り組みと、こうした危機管理の意識は、いわば両輪の関係にあるのではないのでしょうか。活動の魅力をしっかり伝えていくこと、そしてその活動を安心して継続できる環境を整えること。この二つがそろうことで、ロータリーの価値はより確かなものとなり、結果として持続的な発展へとつながっていくものと感じています。

私たちロータリー公共イメージコーディネーターチームでは、オンラインミーティングを通じて、地区を越えた情報共有や意見交換を行っています。ここで共有される内容には、各地の実践に基づいた具体的な事例が多く含まれており、日々の活動に無理なく取り入れられるものばかりです。ブランドの適切な扱い方やメディア対応の基本、そして落ち着いた対応の大切さなど、こうした学びの積み重ねが、各クラブの活動をより安心で力強いものに行っていると感じています。

これまで築かれてきた信頼という土台の上に、公共イメージの取り組みと適切な備えを重ねていくこと。

その積み重ねが、ロータリーの魅力をさらに高め、新たなつながりを生み、より良い未来へとつながっていくものと確信しています。



“人が役を創り、役が人を創る“

第2地域 ロータリー財団地域コーディネーター 伊藤 靖祐（江南 RC）

ロータリー財団地域コーディネーター（以下 RRFC）は地区やクラブのロータリー財団活動をサポートする役割を担っています。また、地区ガバナー、ガバナーエレクトを対象とした数々の Learning Seminar を担当し、補助金の活用支援、寄付の推進やリソースの開発をしていきます。第1～3地域の RRFC は大変仲が良く連携が取れており、日本の目標を設定しています。会員一人当たり年次基金150ドル、ポリオプラス30ドル、また年次基金への寄付ゼロのクラブをゼロとする目標を立て、第2地域では能登半島地震時を除き、その目標はすべて達成しており、第2地域の全てのロータリー会員の皆様に感謝です。第2610地区の全てのクラブにおかれましては震災後の2025-26年度には年次基金の目標も達成されており、尊い寄付活動に敬意を表するばかりです。RI から第2地域の年次基金寄付ゼロクラブゼロは高く評価されています。



今後の財団活動に関する戦略として、RRFC はロータリー財団地域セミナー、クラブ活性化セミナーで提案させていただいております通り、①DDF の有効活用 ②恒久基金の戦略的運用を掲げています。①については、5年を超えて未使用である DDF は、ロータリー財団の World Fund へ自動的に組み入れられてしまいますので、各地区での戦略を立てて有効活用する必要があります。②については、恒久基金—シェアへの寄付は、計画的に積み立てていけばその運用益は毎年地区に分配されるので大きな運用財産となります。ロータリー財団(TRF)における恒久基金の運用利回りは年率7%を超えていますので、恒久基金を各地区の Mather Fund と捉えやはり地区の戦略が求められます。

最後になりましたが、本年6月末を以って第2地域 RRFC の3年の任期を全うすることができます。ロータリー財団地域セミナー、ロータリー研究会、クラブ活性化セミナー、ガバナーエレクト・ラーニングセミナー等で皆様と出会い、多くの経験をさせていただき、私もラーニングさせていただきました。すべての方との出会いと機会に感謝です。「人が役を創り、役が人を創る」という言葉があります。組織における責任と個人の成長の本質を突いた深い洞察だと思います。組織の中で人は役を創るわけですが、その役に新しい価値や独自のスタイルを取り込むことで役の主体性や革新性を織り込んでいきます。そして創られた役に就くことでその人は否応なしに変容を迫られ、結果として視座の変化と人の器が押し広げられていきます。たとえ最初は役という形を演じることから始まったとしても、その責務を果たそうと日々研鑽を積むうちに、いつしかその振る舞いが本質に変わっていきます。ロータリーはまさに「人が役を創り、役が人を創る」組織です。出会った全ての人に感謝し、この言葉で締めくくらせていただきます。ありがとうございました。



1 「受けた恩を次世代へ」米山学友からの高額寄付

米山奨学生として受けた支援を、次世代の奨学生へつないでいきたい、との思いから、当財団へ500万円の寄付をしてくださった台湾出身の米山学友、ウィリアム ファンさん(1998-99/海老名樺RC)のメッセージをご紹介します。

【ウィリアム ファンさん】



奨学生時代、世話クラブの皆さまからの温かい歓迎とご支援を受け、「受けた恩を次世代へつなぐ」ことの大切さを学びました。この気持ちを形にした

思い、寄付させていただきました。当時を振り返ると、例会で受けた温かいおもてなしや、私の近況を常に気にかけてくださった会員の皆さまの優しさが深く心に残っています。

他者が自分に与えてくれたポジティブな影響を「忘れない」ことが何より大切だと思います。だからこそ、米山学友として寄付することに大きな意味があると思います。米山奨学事業が米山奨学生に注いでくれる支援に対し、私の小さな貢献が共感を呼び、他の学友たちもそれぞれの立場で恩返しを考えるきっかけになれば幸いです。それが結果として、日本と母国との架け橋を築くという米山奨学会の目的を前進させることにつながると信じています。

勉学に励む米山奨学生の皆さんには、米山奨学会やロータリー会員の皆さまが示してくれた善意とサポートを忘れないでいただきたいです。そしていつの日か、あなたなりの方法でその「恩」を次世代へとつないでいてください！

2 博士号取得状況

2025学年度に博士号を取得した奨学生は30人、学友は18人となり、これまでの累計は4,275人となりました(5月1日現在)。

米山記念奨学会では、博士号を取得された奨学生・学友の皆さまへお祝いとして腕時計を贈呈しています。裏ぶたに氏名を刻印した世界に一つだけの記念品です。なお、クラブ会員の皆さまに米山奨学事業の成果をご報告いただく機会として、原則としてクラブ例会での贈呈をお願いしております。これをきっかけに学友との交流が再開されたとの報告をいただくこともあります。博士号を取得された奨学生・学友がいらっしゃいましたら、当財団事務局までご一報くださいますようお願い申し上げます。



文字盤の裏に氏名を刻印

申請方法

- 奨学期間終了後の取得でも対象です
 - お届け先は、原則として世話クラブです(納品まで約2~3週間かかります)
- 「学位記の写し」もしくは「学位取得証明書」と、当財団書式「博士号取得報告書」の2点を世話クラブから米山奨学会へメールやFAXなどで送信(FAX:03-3578-8281/email: alumni@rotary-yoneyama.or.jp)

3 寄付金速報 — 今年度も残り1カ月半 —

前年同期比

-2.4%

普 +0.5% 特 -3.9%

4月末までの寄付金は、前年同期と比べて2.4%減(普通寄付金:0.5%増、特別寄付金:3.9%減)、約2,800万円の減少となりました。

創立記念寄付として14クラブより計185万円の特別寄付をいただいたほか、100万円を超える大口寄付が3件ありました。皆さまからのご支援に、心より厚く御礼申し上げます。今年度も残りわずかとなりましたが、当事業へのご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

4 同じクラブから2人同時に紺綬褒章受章

第2760地区知立RCの大橋均氏と安井喜秀氏が、2025年11月22日付で紺綬褒章を受章しました。同一クラブから2人同時に受章されるのは、当財団では初となります。

4月22日の同クラブ例会にて、褒章伝達式が行われ、出席した当財団の神野重行常務理事か

ら褒章が伝達されました。

紺綬褒章は、公益のために私財を寄付し、その功績が顕著な個人または団体に対して天皇陛下より授与される褒章で、当財団は2018年9月に紺綬褒章の公益団体認定を受けています。受章された皆さまに、心よりお祝い申し上げます。

5 米山奨学生を連れて奉仕活動へ

2月28日から3月3日にかけて、第2590地区横浜鶴見北RC会員を中心とする16人が、同クラブの米山奨学生の母国であるマレーシア・ペナン島を訪問しました。

現地では、障がい者就労支援施設を訪問し、活動資金を寄付したほか、パティック染めなどの活動を視察し、参加者も製作を体験。また、



滞在中にはマレーシア米山学友会の学友たちとの夕食会が開催され、翌週に控えていた同学友会総会へのお祝いを手渡すとともに、各地で活躍する学友たちの近況に耳を傾けました。

同クラブでは毎年、米山奨学生や学友と共に行う奉仕活動を継続しています。かつて世話をしたベトナムやタイの米山学友とも深い縁が続いており、現地での奉仕活動や、災害時の支援を学友に託すなど、強い信頼関係を築いているそうです。

参加した石渡宏衛会員は、「学友を介して、現地で本当に支援を必要としている方々に直接会うことができます。共に活動することでクラブ内の米山奨学事業への理解もより一層深まっています」と語り、学友と行う国際奉仕の意義を再確認する機会となりました。

6 米山学友がロータリー入会、そしてカウンセラーに

今回は、かつての世話クラブに入会し、今年度から米山奨学生のカウンセラーを務めることとなった韓瑜さん(2013-14/東京米山友愛RC)のインタビューをご紹介します。

【韓瑜さん】

米山奨学生としての期間終了後、学友会活動を通じてロータリーのつながりの強さに感銘を受け、クラブの先輩方にお声がけいただいたことで、入会を決めました。以前は支援を受ける側でしたが、会員となった今は「恩返しをしたい」という思いをより強く持っています。奨学期間終了から12年という月日を経て、再びロータリーの原点に立ち、「初心忘るべからず」を銘として再出発できることを嬉しく思います。今回、カウンセラーという役割を受けるにあたり、



米山奨学生と記念の一枚を撮る韓瑜さん(左)

本当に光栄です。奨学生時代に心に蒔かれた種が、歳月をかけてようやく開花したと感じています。私がバトンを受け取り、事業の伝承に貢献できることは大きな意義があります。留学経験という共通点を持つ奨学生をサポートし、共に成長しながら、日本と世界を結ぶ架け橋になれるよう尽力したいです。